

1. はじめに

(1) 財政の健全化と必要な施策の実現に向けて ～マネジメントサイクルの推進～

- 厳しい経済情勢の中、地域の自立を実現するためには、税財政基盤の確立が不可欠です。そのためには、本県の豊かな文化遺産等を活用し、「経済の活性化」を図ることが必要です。また、県民の安全・安心を確保し、将来の発展基盤を確立するためには、医療や福祉等を充実させ、「くらしの向上」を実現することが必要です。
- このような「経済の活性化」や「くらしの向上」の視点から、将来の県勢発展に向けた施策を実現するため、これまでの県の取組による成果の検証を徹底しつつ、県民ニーズを踏まえた真に有効な施策の実現に努めていく必要があります。
- そのために、各種指標による現状分析や取組の評価、これらを踏まえた適切な指標による具体的な目標設定などを、予算編成や事業の執行に的確に反映していくというマネジメントサイクルの取組が必要となります。(下図参照)

(2) 「重点課題に関する評価」について

- 行財政運営の改善・見直しのために、「CHECK (評価)」はマネジメントサイクルにおける重要な要素です。今年度は、『主な政策集』(平成26年2月発行)で示した政策目標・戦略目標等について分析・評価を行うとともに、課題を明確化した上で今後の取組方針を整理し、平成26年度『重点課題に関する評価』としてとりまとめました。
- 今回の評価結果を踏まえ、重点的に取り組む施策を検討し、平成28年度の予算編成等に着実に反映させていきます。

